



ドクター板東の メディカルリサーチ

Vol. 101

～スポーツの発展 今後が楽しみだ～

<http://pianomed-mr.jp/>

「徳島マラソン」が先日開催（図1）。1・1万人以上が参加し、今や日本で有数の大会にまで成長した。阿波踊りやお遍路の心で皆さまを「おもてなし」。十分に楽しまれ、素晴らしい思い出になつただろう。

スポーツには、肉体を使うフジカルスポーツと頭を使うマインドスポーツとがある。たとえば、スポーツ新聞には、あらゆる分野の娯楽的内容が。こんな情報満載の出版物は世界でも珍しいそうだ。多様な価値観を許容する日本の出版文化といえよう。

今回はスポーツの話題に触れてみたい。

デスポート

現代の仕事はコンピュータ作業が多くなり、坐ったまま目と脳と指先を酷使する人が増えてきた。

一方、昔は、身体を使って荷物を運ぶ労働が普通だった。赤帽やボーターという職種があり、portとは荷を運ぶ意味だ。なお、港はport、空港はairport、

開催（図1）。1・1万人以上が参加し、今や日本で有数の大会にまで成長した。阿波踊りやお遍路の心で皆さまを「おもてなし」。十分に楽しめ、素晴らしい思い出になつただろう。

スポーツには、肉体を使ふフジカルスポーツと頭を使うマインドスポーツとがある。たとえば、スポーツ新聞には、あらゆる分野の娯楽的内容が。こんな情報満載の出版物は世界でも珍しいそうだ。多様な価値観を許容する日本の出版文化といえよう。



以上を要約すると、ラテン語の Portare（物を運ぶ）から Deportare（生活から離れる）がフランスに渡り Desporter となり、イギリスに入って De が省略され SPORTS になつたのだ。

スポーツの方向性

スポーツの概念は広く、定義は「人間が考案した施設や技術、ルールに則つて営まれる遊戯・競争・肉体鍛錬の要素を含む身体を使った行為」とされる。

当初は、生活から離れて (des + port)、どこかへ行ったり、カードで遊んだり、気分転換し、楽しい感情を発散させるものであつた。11世紀頃には遊びたわむ



[図2]

18世紀には、スポーツのルールや用具など、現在スポーツの原型が確立。今は競技スポーツと娯楽スポーツ

表1 語幹 port に関わる言葉

port	持つ 運ぶ
porter	ポーター 荷物を運ぶ人
port tower	ポートタワー（神戸）
portable	持ち運びできる、ポータブル
port	港、港町
portal	門、入口、ポータルサイト
export	輸出する（外へ運ぶ）
import	輸入する、持ち込む
passport	空港（空の港）
important	パスポート、旅券
report	重要な、大切な
support	サポート、運び戻して伝える
teleport	テレポート、念力で動かす
tereporation	遠い距離へ瞬間的移動
transportation	輸送、運送、運輸
portare	運ぶ、仕事をする
des+portare	離れる+仕事→
desport	休息し、楽しむ
sport	スポーツ

表1

一つに大別され、目標は「体力VS健康」か、「記録VS楽しい記憶」か、目的や意義を明確化しておきたい。

スポーツの発展

筆者は日本体育協会認定スポーツドクターで、自分がスポーツを楽しみながら、種々な業務を担当してきた。毎年、全国会議があり（図



図3

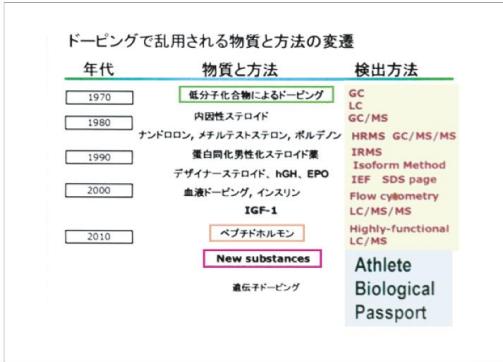


図5

3）、最近の知見を含む素晴らしい研修を受講できたので、少し紹介させて頂きたいたい。

まず、一般的な話題として、totoがある（図4）。

最初は当協会や文部科学省などの立場や理念の問題もあつたが、実際には多額の寄付金が数多くのスポーツ団体に供与されてきた。本資金で様々な活動がサポートされている

次に、ドーピングの問題を挙げたい。現在 athlete biological passport (ABP) が行われている（図5）。



図4

以前と異なり、現在は間接的データで判断可能となつた（図6）。赤血球数はある範囲内に収まるため、変動が大きいと、人為的操作があると評価できる。次に、各年代で外傷統計を調査している（図7）。

2011～2013年にスポーツの推進が法律でもが重要となる（図8）。そこで、医学的に内科的・外科的チャックやサポートが重要なオリンピックを2011～2013年に実践された（表2）。

近年は、オリンピックを目指すトップアスリート達が、ナショナルトレーニングセンターに参集している（図9）。栄養、スポーツ医学、心理学などあらゆる面からサポートを受け、切磋琢磨しているのだ。

そこで育った卓球女子選手（平野・伊藤）が史上最年少でワールドツアーチャンピオンである。日本人は素直で真面目に練習するため、今後各種目の発展は間違いないだろう。

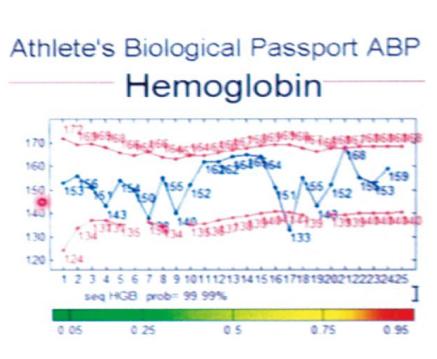


図6

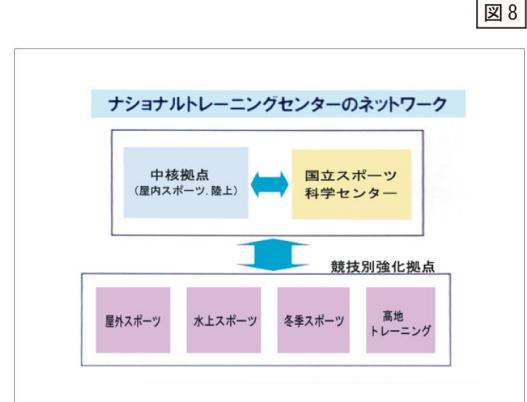


図9

表2 スポーツに対する日本の推進

- 1) スポーツ基本法 (2011)
- 2) スポーツ宣言日本 (2011)
21世紀においてスポーツが果たすべき社会的使命
- 3) スポーツ基本計画 (2012)
- 4) スポーツ推進2013 (2013)
スポーツ宣言日本で示されたグローバル課題を踏まえ、今後の事業推進の基本理念を新たに提示するとともに、具体的な事業推進方策を策定した。
- 5) 指導者育成事業推進プラン2013 (2013)
「スポーツ推進2013」に基づき、スポーツ指導者育成事業で今後の重点施策・具体的な計画等を定めた。

表2

（板東浩、ばんどうひろし、医学博士、糖尿病専門医、ピアニスト）